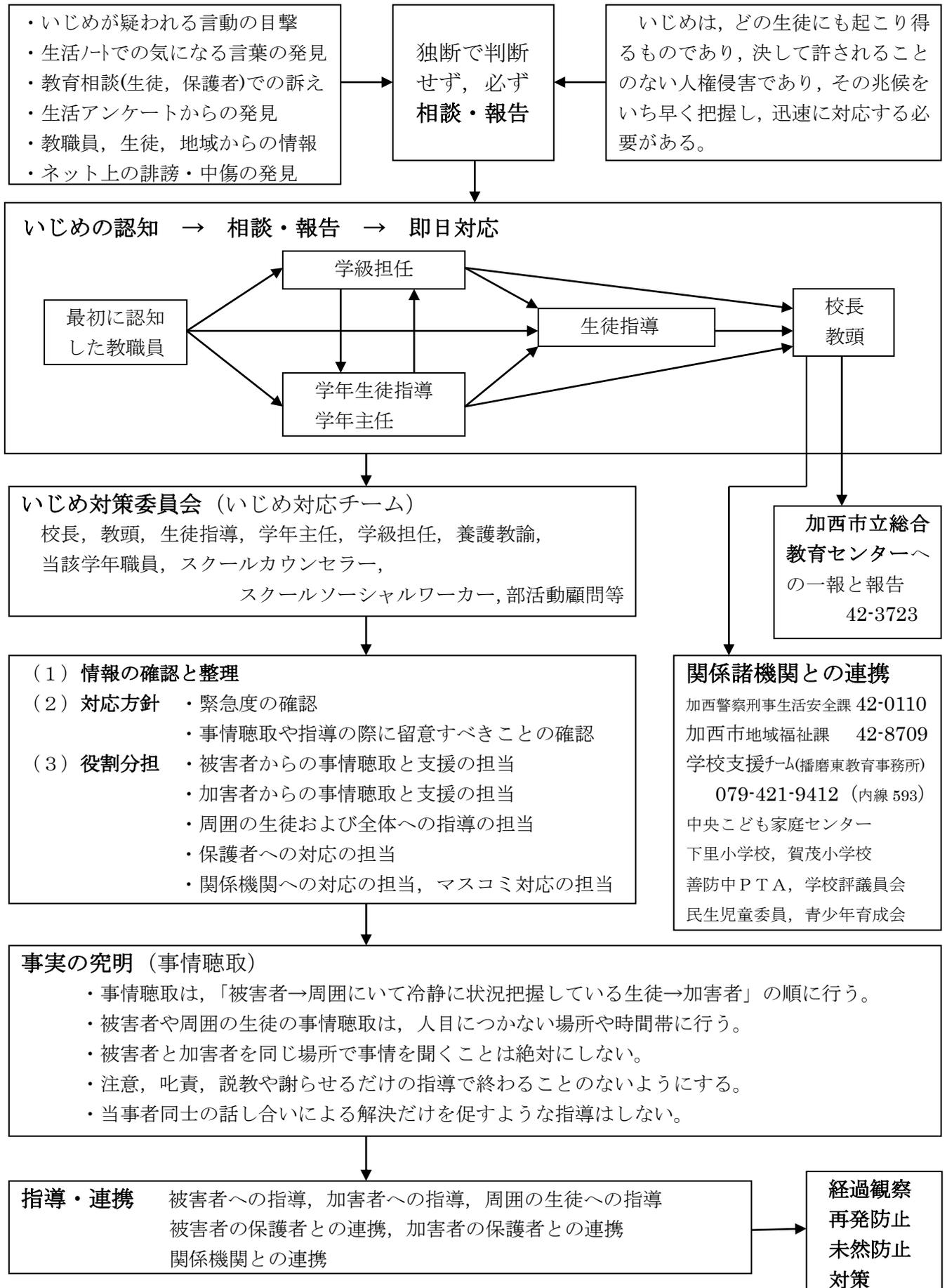


校内指導体制及び関係機関・組織的対応



1. いじめ未然防止への教師の自己チェック

【生き生きとした教師の下には、生き生きとした生徒が育つ】

- 自分自身が明るく前向きに生きている。
- 教育活動にやりがいをもって取り組んでいる。

【教師の指導で生徒は変わる】

- 生徒とのよりよい関係づくりに努めている。
- 生徒の意見（話）をじっくり聞いている。
- 生徒の人間関係（力関係）を把握し、観察している。
- 不正に対して毅然とした態度で指導に臨んでいる。
- 発言等に対して冷やかしの言葉や目配せがあれば、その場で指導している。
- 小さな問題を見逃さず、その場で指導している。

【よい個の集まりがよい集団をつくり、よい集団の中に高め合う個が育つ】

- 他人の意見に耳を傾ける集団づくりに努めている。
- 集団（学級、学年、部活等）の諸問題について話し合わせ、自分たちで解決する機会を与えている。
- ルール、マナー、モラルについて考える機会を与えている。
- 安心して生活できる集団づくりに努めている。
- おかしいことがおかしいと言える集団づくりに努めている。

【仲のよい教師集団の下には、仲のよい児童生徒集団が育つ】

- 日頃から生徒（人間関係も含めて）について、気軽に情報交換している。
- 問題を一人で抱え込まず、こまめに報告・連絡・相談を行っている。
- 教師間でもよりよい人間関係づくりに努めている。

2. 早期発見のためのチェックポイント

【学校におけるチェックポイント】

①登下校

- 集団から離れて登下校している。
- 友だちのかばんなどを所持されている。
- 遅刻・早退が増える。

②休み時間

- 何となくそわそわして落ち着きがない。
- 忘れ物が多くなる。
- 一人だけ遅れて教室に入る。
- 席を替えられている。（離されている。）
- 机、教科書、ノートなどが汚されていたり、落書きされていたりする。
- 用もないのに職員室や保健室に出入りすることが多い。
- ドッジボールなどで、集中してボールを当てられる。
- 遊び道具の片付けをさせられている。

③授業中

- やじられたり笑われたり、みんなの笑いものにされる。
- おどおどして発表をためらい、うつむいている。
- たびたび保健室やトイレに行きたがる。
- 席替えなどで特定の子の隣や、同じ班になることを嫌がる。
- ふざけた雰囲気の中で学級委員や班長などに選ばれる。

④給食時

- 配膳や片付けの仕事を押しつけられている。 食べ物にいたずらされている。
- いつも後片付けをさせられている。
- 当番のとき、みんなが嫌がる仕事をやらされている。

⑤清掃時間

- みんなが嫌がる仕事をいつも割り当てられている。
- 一人だけ離れた場所を清掃している。 いつも後片付けをさせられている。

⑥放課後

- 帰りのSHRに配布したプリント類が、特定の生徒にだけ渡らない。
- 「一日の反省」で特定の生徒だけを追及する。 靴などが隠されていることがある。

⑦部活動

- 一人で準備や後片付けをさせられている。
- 特定の生徒だけが失敗すると笑われたり、厳しく追及されたりする。
- 練習相手がいない。 活動とは関係ないけががある。
- 無断欠席や嘘をついての欠席が増える。 体調不良をよく訴え、遅れてくる。

⑧その他

- 急に無口になり、言葉遣いが投げやりになる。 一人でいることが多い。
- 使い走りのようなことをさせられている。 服に靴の跡がついている。
- 黒板やトイレ、廊下の壁等にあだ名や中傷が書かれている。
- 個人の掲示作品に落書きがされたり、破られたりしている。
- 委員長や班長などを辞めたいと申し出てくる。
- 日記、作文、絵画、ノートに記載などに、気にかかる表現や描写がある。
- 家の金を持ち出したり万引きをさせられたりする。
- 持ち物や体に触れるのを嫌がられる。
- けがの状況と本人の言う理由が一致しない。

【家庭・地域におけるチェックポイント】

①朝（登校前）

- 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。
- 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- 食欲がなくなったり、黙って食べるようになったりする。

②夕方～夜（下校後～就寝）

- 友だちから電話があり、丁寧すぎる語調で対応する。
- パソコンやスマホ（ケータイ）をいつも気にしている。
- ケータイやメールの着信音におびえる。
- 親に隠れてパソコンやスマホ（ケータイ）を見ている。
- 表情が暗く、家族との会話も少なくなる。 家の外でぼつんと一人でいる。
- 些細なことでイライラしたり、物に当たったりする。 学校や友だちの話題が減る。
- 転校したい、休みたいと言うことが多くなる。
- 自分の部屋に閉じこもる時間が増える。
- 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。

③その他

- 金遣いが荒くなる。家から金品を持ち出したり、必要以上のお金をほしがったりする。
- 服が汚されていたり、破られていたりする。
- 理由をはっきり言わない傷やあざがある。

3. 適切ないじめ対応のためのチェックリスト

- いじめられている生徒の心情に寄り添って、いじめを認知しようとしている。
- いじめアンケート等から明らかになったいじめに関する情報を把握している。
- 自校でいじめの防止等のため行っている校内研修やOJT等の内容を日常の指導に生かしている。
- 日頃から管理職や同僚と報告・連絡・相談ができる関係を築いている。
- 生徒の気になる様子を見聞きしたら、小さなことでも学年職員や管理職等に報告している。
- 少しでもいじめが疑われたら、校内いじめ対応チームに報告している。
- いじめアンケートの回答はその日のうちに確認し、他の教職員と情報共有している。
- 生徒に対して、いじめは絶対に許せない行為であることを、各教科、道徳科、特別活動等を通して、計画的に指導している。
- 生徒に対して、いじめなどの行為を見聞きした場合には、見て見ぬふりをせず、必ず教職員に伝えるよう指導している。
- いじめにつながるような行為を見聞きしたときは、そのとき、その場で指導している。
- いじめが疑われたら、即日対応を心がけている。
- いじめられた生徒の保護者に対しては、家庭訪問等で支援している。
- いじめた生徒の課題等を捉え、長期的視野をもって指導している。
- 生徒や保護者に対して、授業、保護者会、学級通信などの多様な機会を活用し、いじめ防止のための取組を伝えている。

みなさんは、楽しく毎日をすごすことができますか。
すしやすい学校や学級にするために、この生活アンケートを行います。よりあてはまるほうに○をつけてください。

年 組 番 名前

○ () 学期にあった出来事について、教えてください。

- 1 学校生活は楽しいですか。
ア 楽しい イ 楽しくない
- 2 仲のよい友だちはいますか。
ア いる イ いない
- 3 困ったり、なやんだりしていることがありますか。
ア ない イ ある
- 4 たびたび人からいやなことをされますか。
ア されない イ される
- 5 人にいやなことをしていませんか。
ア していない イ している
- 6 からかわれたり、悪口を言われたり、無視をされたりしたことがありますか。
ア ない イ ある
- 7 遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりしたことがありますか。
ア ない イ ある
- 8 お金や物をとられたり、無理やり貸すように言われたりしたことがありますか。
ア ない イ ある
- 9 インターネットや携帯電話で悪口や個人情報を書かれたり、仲間はずれにされたりしたことがありますか。
ア ない イ ある
- 10 悩んだときに相談できる人がいますか。
ア いる イ いない

※ クラスのことやその他のことで気になることなど、先生に相談したいことがあれば書いてください。

別紙 4

年間指導計画

	職員会議・研修等	未然防止の取組	早期発見の取組
4月	いじめ対策委員会	(3月 小中連絡会)	
	指導方針・計画作成	(3月 クラス編成)	
	職員会議		
5月	職員会議		ポスティングによる 家庭訪問
6月	いじめに関する 職員研修	学級活動(学級づくり) 野外活動(1年) 命の学習(3年) 人権作文	自主ノート等による 生徒理解
7月	交通安全講話	交通安全講話	心の健康アンケート
	職員会議	小中連絡会(1年)	生活アンケート 保護者へのチェック リスト配布
8月	カウンセリング研修	自主ボランティア活動	教育相談(三者面談)
	小中合同研修会	生徒会リーダー研修会	
	職員会議	生徒総会	
9月		体育祭 愛校作業	
10月		命の学習(1年) 合唱練習 人権意見発表会 修学旅行(3年) トライやる(2年)	授業公開
11月		ふれあい合唱祭 学年活動(2年)	オープンスクール 生活アンケート
12月	職員会議	生徒総会・選挙 マラソン・駅伝大会	個別面談 教育相談(三者面談)
1月	職員会議	CH体験(1年)	参観日・学級懇談会
	ネット被害防止研修	命の学習(2年) 防災講話	
2月	職員会議	学年活動(3年)	生活アンケート
3月	職員会議	愛校作業	
	いじめ対策委員会	学年活動(1・2年)	
	基本方針の点検・評価・見直し	生徒総会 小中連絡会・クラス編成	

※行事に関しては、変更の可能性あり。

職員会議・研修等

- ・校長、教頭、生徒指導、各学年生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーで構成する生徒指導委員会を「いじめ対策委員会」として、週に一度の会議を開き、各学年の情報交換や配慮の必要な生徒の様子や対応について協議する。

未然防止の取組

- ・入学前・入学後に小中連絡会を開き、小中の情報交換を行う。
- ・自尊感情を高め、「心の居場所づくり」となる学級経営に心懸ける。
- ・人権標語や人権作文の作成など、人権教育を充実させる。
- ・道徳教育を充実させ、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
- ・仲間との関わりや自己有用感の持てる体験活動を充実させる。
- ・生徒会活動を活性化させ、リーダーを養成するとともに、生徒の自浄力を高める。

早期発見の取組

- ・教育相談や個別面談、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談など、教育相談を充実させる。
- ・日常的な生徒観察や生活ノートの指導によって、生徒の日常の小さな変化にも対応する。
- ・教職員間の情報交換を密に行う。
- ・生活アンケートを年3回実施する。
- ・2日連続の欠席は電話連絡、3日連続は家庭訪問をする。

ネット上のいじめへの対応

